

# 青陵



## 卒業生の皆様へ

コロナ禍はすでに3年になりますが、依然、改善の兆しが見えませんが、皆様方には慣れと諦めの毎日ではないでしょうか。人類は戦争と感染症の歴史という言葉通り、追い打ちをかけるようにロシアのウクライナ侵攻が起きました。21世紀の地球上は今、秩序の崩壊と合わせ3重苦に見舞われています。人類の英知が試されます。皆様には青陵魂を発揮して新たな未来を切り拓いてください。

(編集室)

同窓会副会長 徳田 政太郎 (35期)



同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、コロナ禍の影響で本(令和4)年度も本部総会が中止となったことは残念でしたが、停滞していた社会・経済活動は、ウィズコロナに向け再び動きだしています。

### 道を模索した青陵時代に思いを

一方、ロシアによるウクライナ侵攻以降、国際情勢は緊張と混迷の度を深め、私たちの日常もその影響を受けつつあります。

こうした激動の世にあって、自分を失わず自分らしく生き抜くためには、将来への希望と不安の中で悩み、もがきながら自分の道を模索していた青陵時代に立ち返ることも大切ではないでしょうか。

同窓会活動がその一助となり、皆様の明日のためにお役に立てば幸いです。

## ごあいさつ

副校長 片山 智司



同窓生の皆様には益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校に對する多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

### 「青き陵」での自己実現のために

私こと、本(令和4)年度より副校長として学校運営に携わることになり、気持ち新たにしているところです。本校が掲げる「教育目標」にもお示ししている「グローバル社会に貢献できるたくましくしなやかな人間を育成する」ことを教職員一丸となつて実現できるよう努めて参ります。

「青き陵に集ひし若人」たちの自己実現のため、どうぞ母校への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。□：片山先生は本校教頭より副校長に昇格されました。

## 5年ぶり会員名簿第40号発行へ

同窓会の会員名簿第40号を令和5年5月に発行します。完全予約限定出版で1冊3600円です。A4判、約730ページに、恩師を含め創立から現在までの同窓生約3万6800人を収録し

ます。5年ぶりの改訂で、その間の新入会員約1500人も収録しています。購入申し込み締め切りは同年3月末です。個人情報につき、購入者は取り扱いにご注意ください。(編集室)

## 中止

より会計は169万7367円を繰り越しました。

2号議案は同4年度の行事・予算案です。承認された行事のうち、すでに大半が中止となっています。本会計予算609万円、同窓会総会予算31万円を、それぞれ計上しました。

積立基金特別会計は例年通り本会計から30万円を繰り入れ1379万1120円としました。同窓会だより会計は170万円です。(本部同窓会事務局)

### 東京など3支部の総会も

令和4年度の各支部総会を、東京青陵会は同年2月、オンラインで開いた幹事会で、近畿青陵会は3月、会長判断で、九州青陵会は9月、いずれも中止を決定しました。残念ながら3年連続となりました。

## 3年連続

## 本部 総会

青陵高校同窓会(岡田展弘会長)は、令和4年8月7日に予定していた本部総会をコロナ禍のため中止しました。3年連続の中止となりました。

### 議案2件を郵送で書面表決

このため同月、議案2件を郵送による書面表決に切り替えました。あらかじめ総会に出席の返事をしてきた理事・評議員42人のうち返信35と、承認扱いの未返信7を「異議なし」とし、欠席予定の委任状96と合わせ2件とも原案通り承認されました。

1号議案は同3年度の行事・決算報告です。行事は大半が中止されました。決算では収入決算額364万9133円、支出決算額71万1765円で、差し引き残額293万7368円となり全額を次年度へ繰り越しました。

積立基金特別会計は支出がなく収入決算額1348万4310円がそのまま次年度へ繰り越しました。同窓会だ

表紙の作品は銅版画家・岡村勇佑さん(48期)の「宙に風」(2022年)。4面に岡村さんの紹介記事。

# 青陵出身国会議員第1号!!

芸能界のたけし軍団で修業、お笑いコンビを結成、エッセイストと幅広く活躍する水道橋博士(本名・小野正芳さん(33期)、東京都在住)が令和4年7月の参議院議員選挙で、見事初陣を飾りました。青陵高校出身の国会議員は初めてです。

れいわ新選組の山本太郎代表の要請で同党の比例代表として立候補、野党が伸び悩む中、長い芸能生活での知名度を生かし同党の3議席獲得に貢献しました。

6月22日の公示日、東京都内で珍しく背広姿で第一声を上げまし



水道橋博士の当選会見を伝える記事＝令和4年7月12日付山陽新聞

の黒縁眼鏡を頭の上に乗せて記者会見しました。

「当選するとは思っていなかった。バックにしがらみはない。法律を作りに行く。れいわの勢力をさらに増していきたい」と、決意を語りました。さすがに破天荒ぶりはなく、「遅い時間にすみません。ありがたうございました」と、報道陣をねぎらう言葉で締めくくりました。いつもの厳しい顔と違い終始笑顔でした。

作家としても、芸能人の素顔を濃厚に描いた『藝人春秋』な

## 水道橋博士(33期)参院議員に初当選

### れいわ比例代表 11万票余を獲得

た。「防衛費増額より学費無償化、消費税廃止、(言論封じの)スラップ訴訟の規制を」と公約を示し、「真っ向から反対意見を送るのが国会議員の役目だ」と、声を張り上げました。

(この項、同年6月23日付山陽新聞より)

その足で早速、地元岡山県に入りました。倉敷の実家に泊まって兄らに決意を語り、翌日は旧友らに立候補のあいさつをし温かい

激励を受けました。期間中は主に都市部を中心に街頭演説を繰り返して、タレント候補の強みを生かし無党派層を狙って支持を訴え票の拡大に務めました。その結果、個人票としても同党比例名簿8人中の抜きん出たトップ11万7794票を獲得しました。

開票日の7月10日遅くに当選の朗報が入り、日付をまたいだ11日午前2時過ぎから黒っぽいスーツに赤いネクタイ、トレードマーク

ど著作は10冊を超え、週刊誌の連載も抱えています。漫才も続けていくそうで、マルチタレントの才覚を生かし政界に新しい波を起してくださいます。期待しています。

なお、同選挙には住寄聡美さん(53期、倉敷市在住)が、岡山選挙区から共産党候補として初出馬しましたが当選はなりませんでした。

水道橋博士は当選後の10月、体調を崩し議員活動を休止しています。

## 国会質問や議員立法 しっかり仕事

**水道橋博士の話** 昭和53年入学、57年卒業の水道橋博士こと小野正芳です。1年生で留年したため4年間在籍し、1年年下の皆様と高校時代を過ごしました。そんな私も令和4年夏の参議院議員選挙に、「反スラップ裁判の法制化」を公約に掲げて出馬し当選、国会議員となりました。幼少時代に「末は博士か大臣か」と言われたものですが、ニセ博士にはなっ

ていたものの、まさかの大臣まで現実味を帯びてきました(笑い)。青陵高校卒業生としての誇りを持ち、「国会質問」「質問主意書」「議員立法」などを行い国会議員としてしっかり仕事をしていきます。

□…「質問主意書」：国会質問の代わりに文書で質問を提出する形であり、質問時間の少ない少数会派の質問機会をカバーする制度です。

# こじん にちは

岡村 勇佑 (48期) です

珍しい版画家ですが、厚さ0.8<sup>ミリの</sup>銅板の上にニードルという金属針で線を描き込む銅版画に取り組んでいます。

編集委員の要望で会報の今号の表紙を描きました。

このジャンル、版画家自体が県内でも10人ほどで、銅版画家はそのう



個展会場の岡村勇佑さん  
令和3年5月、天満屋倉敷店

## 今号の表紙を制作

ちの半分です。さらに私の作品はカラーなんですけど、同じような作家は、ほとんどいませんね。従って、青陵には陶芸や洋画など芸術家は大勢おられますが、版画は私だけでしょう。変わり種、絶滅危惧種かも… (笑い)。

なぜ銅版画? 小さい時から絵が好きで、青陵時代は卓球部だったんですが、美術の世界へ進もうと3年生で美術部へ転部したんです。同時に銅版画家の木口敬三(本名・賢太郎)先生に師事しました。木口先生は青陵11期の先輩で、画塾を主宰しています。

自分の絵のタッチがどうもよくない、いやだなあ、と思って洋画をやめ、この道へ入ったんですよ。身近にいい先生がいてラッキーでしたね。

倉敷芸術科学大学芸術学部、修士、博士課程で計9年間、版画一筋に学びました。師事した高橋秀(しゅう)先生=文化功労者=に認められ、先生夫妻の創設した秀桜基金留学賞を受け、1年間、ローマで修業を積んで帰国しました。

銅版画には2つの手法があります。銅板に直接、線を描く直接法(ドライポイント)と、線を描き酸性の腐食液に浸す、という作業を繰り返す間接法(エッチング)です。私は

エッチングですね。ドライポイントは、にじんだ線が出ますがエッチングは絵のようにくっきりとした線(模様)に仕上がります。

## 県内数人、銅版画家20年余

版画は1枚の版で色違いが刷れて、何百年も持つ耐久性が魅力です。江戸時代に生まれた浮世絵は300年以上たっても健在です。

私の作品のテーマは星、風、水など自然が中心で、青系、寒色系の色に仕上げます。油絵の具と同じ油性インクを使います。

銅板に線で模様を描く製版作業が1カ月、プレス機で紙に印刷、乾燥、紙の切断、サイン、額装に計1週間で作品が出来上がります。大きさはプレス機の関係で60<sup>センチ</sup>×45<sup>センチ</sup>が最大かな。手作りの醍醐味があり、作ってる時間が一番楽しいですよ。

ローマから帰国して本格的に作家活動に入り、毎年、意欲的に個展を開いてきました。倉敷、岡山を中心に東京、新潟、神戸、広島など30回近くになります。

展示会にも積極的に出品しました。倉敷や岡山、福岡、さらにアメリカやカナダ、キプロス、コロンビアなど海外にも参加します。その関係で、主催者のアメリカの大学とキプロスの美術館のパブリックコレクション(収藏品)となりました。気に入られたんでしょうね、早い話が寄贈ですよ。

出品は洋画と違って額装しなくていいんです。紙(作品)をくるくるっと巻いて送るんで、輸送コストは安いです(笑い)。

20年余りで作品数は1000点に上りますが、今の洋物と



は別に屏風や軸など和風に挑戦しようと考えています。黄色の紙とか使ってる。新境地です。

青陵の思い出? 青陵祭とか運動会は逃げてたから、話すネタがありませんねえ(笑い)。

(令和3年5月 談)

個展の作品群



倉敷産の綿で作った子ども服を県に贈る楠戸俊宣さんの新聞記事

## 倉敷産綿の子ども服を県に30着

た。市内の耕作放棄地で無農薬栽培した綿を原料に衣料品を制作、販売しています。県は「中央児童相談所(岡山市)が保護した0〜2歳児を乳児院や里親に預ける際に活用させていただけます」と話し、感謝していました。□:令和4年3月31日付山陽新聞を参考にしました。

### 楠戸俊宣さん(21期)

子ども服を作るプロジェクトを進めている不動産賃貸業楠戸俊宣さん(21期)が令和4年3月、県に新生児用の産着やセーターなど子ども服30着を寄贈しました。楠戸さんは3年前に同プロジェクトをスタートさせまし

### 寄贈

倉敷産の綿で

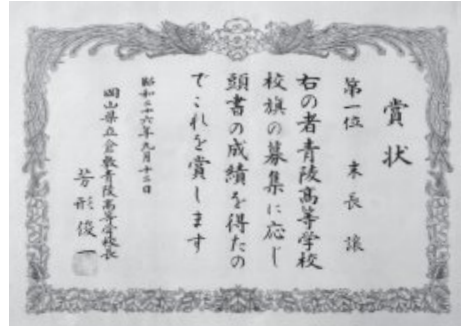
トピックス

現在の校旗のデザインは私の作品です！昭和27年に制定された校旗のデザイン制作者が70年ぶりに判明しました。末長譲さん(3期)≪写真≫です。  
令和4年4月、同窓会事務局(青陵高校内)に手紙とともに、当選(第1位)の賞状(コピー)が送られてきました。



作品は濃紺地の真ん中に金色で校章をあしらったシンプルでデザインです。原

校旗制定70年、今も健在



校章デザイン当選の賞状=末長さん提供

デザイン 末長譲さん(3期)と判明

画は校章の下に「倉敷青陵高等学校」と入れていましたが、カットされました。現在まで入学式や卒

今も健在な末長譲さんのデザインした校旗  
≪創立100周年記念誌≫より



昭和27年2月11日制定校旗

業式など主要行事に登場しています。校旗のデザイナーは創立100周年記念誌にも記述がない貴重な情報です。

昭和26年、末長さんが3年生の時、校旗と校歌の募集があり、校旗に応募したそうです。「選考の途中で人気投票があったと思います。当選して感激しましたね。全校集会で賞状と賞金をいただいたことを覚えています」と、記憶をたどっていました。

校名が「青陵」になって2年目のことで、校旗と校歌の制定が一気に進みました。末長さんは在学中、生物部でした。3年生を送る会で平野亮輔さんと漫才をやり大喝采を浴びたのと、この当選が一番の思い出と言います。

つくる

試食します。プリンとそっくりの出来上がりで、生姜味の効いた薬味風の甘い味を賞味しました。

田中 まりさん(30期)



薬膳料理を豊富な知識で丁寧に指導する田中まりさん(中央)=西阿知公民館

料理づくりをしながら、食品の説明や食材の選び方、栄養学など知識が湯水のごとく出てきます。次女が青陵OGという教室の原邦夫会長は「話題が豊富。楽しい時間ですよ」と、うれしそうでした。

田中さんは、ノートルダム清心女子大学家政学部食品栄養学科を卒業しました。倉敷市内の大学勤務のあと、餃子好きの両親の影響で漢方薬に興味を持ったことから北京で1年間、薬膳料理の勉強をしてこの道に入りました。

管理栄養士、薬膳料理師、家庭健康管理士の資格を持ち、倉敷や岡山、西大寺など数カ所で薬膳料理教室を開いています。

「薬膳料理は特別な料理ではありません。第一歩は刺し身のワサビですかね。ジャガイモの芽の奥の成長点、スイカの皮の下の白い部分など食品の普通は捨てる部分をどしどし利用するんです。微妙に違った味に仕上がります」と、和食との違いを話します。

タレントのような名前の田中まり先生は、料理の味も口調も益々、切れ味がいいようです。

□…青陵時代はプラスバンド部でフルーツを担当していました。父は青陵の元教員、母は3期生です。



麩リン

北京留学

25年前から健康教室「壽桃」(しょうたお)を主宰、薬膳料理の普及に務める田中まりさん(30期)を訪ね、活躍ぶりを拝見しました。

薬膳は健康増進、病気予防、不老長寿を目指す中国の「薬食同源」思想から生まれた料理です。

「きょうはね、肉じゃがと中華サラダ、麩リンを作りましょう。えっ、不倫じゃあないですよ、麩にアクセントをつけて麩リンです。そう、プリンと同じアクセントですね」と、明るい快活な声が室内に響きます。

令和3年7月13日、西阿知公民館の男性料理教室の月例会です。平均年齢70歳ぐらいの男性10人が配られたレシピを見ながら、よどみない田中先生の話聞いていました。

まず麩リンから始めました。ボウルに用意した牛乳に麩、それに溶き卵と練乳を加え、耐熱容器に入れます。底に水を張った鍋に入れタオルをかけ蓋をして蒸し上げます。約10分ののち、ジンジャーパウダー(生姜の粉末)と砂糖を合わせた生姜砂糖をかけると出来上がりです。

出来上がると「皆さん休憩して、頂きましょう」という先生の合図で

薬膳料理教室 25年

# 大学教員、写真、カラオケ

マルチな電子機器のユーザーにして大学の先生、スポーツ推進委員、レクリエーションインストラクターと、定年退職後も大活躍、益々元気な恩師がいます。

## 草野泰秀先生(20期)

倉敷市工との兼務で昭和53、54の2年間、母校青陵の教壇に立った草野泰秀先生(20期)です。かつての3年担任の新見先生に請われ物理を教えられました。専門は「工業」で、物理は専門外でしたが臨時免許を受け家政科の生徒を担当しました。28歳、気鋭の教師でした。

「校舎は在学中の木造モルタルから鉄筋に建て替わっていましたが懐かしく、母校



家政科の生徒と授業の合間にパチリ(昭和54年(草野泰秀さん提供))

の教壇に立てたことは感無量でしたね」と述懐しています。学科長から「実験をたくさんしてやってくれ」ということで、積み木を落下させてタイマーで測る重力加速度を導き出す実験などを繰り返しました。

## 家政科で2年間物理を担当

青陵時代、運動会で「小野誠英君が鬼のパンツを履いてプロロック応援の先頭に立っていたのが目に浮かびます」と、思い出話をしてくれました。

散歩中の草花の写真撮影、舟木一夫の歌で97点をたたき出すカラオケと、多彩な趣味の先生は厚みのある人生を送っています。

神戸大学で1週間勉強、帰ってから伝達講習をしました。この科目の免許取得を目指す教員90人を相手に1カ月間授業、この生徒らと一緒に免許をもらったそうです。岡山大学工学部電子工学科とその大学院を出た工学修士ですが、在学中、数学免許の取得には理学部数学科と同じ科目を履修、「苦勞しました」と苦笑いします。

## 青陵ゴルフ会

いましたが、現在は20人台です。事前に配られたあいさつ文(ファクス)によると、仁科さんの「誇り高い青陵精神、で皆様方と和気あいあいと過ごせたことは無上の喜びです。今まで同様、一層のご協力を



原新会長(前列左から2人目)のもとで出発した青陵ゴルフ会=倉敷カントリー倶楽部

をお願いします」との退任の言葉を受け、原新会長が「仁科前会長の精神をしっかりと受け継ぎ、若い世代や女性に参加を呼び掛け、この会を盛り上げていきます。よろしく願います」と抱負を述べました。全員で記念撮影をして新たな出発をしました。

## 新会長に原実さん(20期)

青陵ゴルフ会は令和4年2月、16年務めた仁科喜佐男会長(5期)が退任、後任に原実副会長(20期)が就任しました。令和4年4月5日、例会の打ち上げの席で、原さんから仁科さんに感謝の花束が贈られ、新旧会長

が交代のあいさつをしました。同会は平成18年、吉富康郎さん(6期)と目黒義則さん(20期、現事務局長)の音頭で結成、今年16年になります。倉敷カントリー倶楽部を会場に、かつては年6回、現在4回の例会を重ね同年4月現在89回に達しています。参加者は30人ほど

## 「アド街ツク天国」倉敷の人気度ランク

ふるいち、むらすゞめなどおなじみの場所や味が次々登場、東京や関西など県外で活躍する卒業生の心を癒やしました。

やや旧聞ですが、平成31年4月20日放映の「出沒! アド街ツク天国」(テレビ東京系)は倉敷がテーマでした。

東京青陵会のサイトには、放映された人気度ランクが20位まで掲載され、「懐かしの場所、味、知人がたくさん登場、倉敷づくめの素晴らしい番組でした」とのコメントがあり、望郷の念を抱いたようです。

ランクを見ると、言うまでもなく1位と2位は美観地区と大原美術館のセットです。

## こぼれ話

これをお目当てに来る観光客は年間300万人、もちろん岡山県ナンバーワン、全国でも屈指の観光地です。「母校(青陵)は美観地区のすぐ近くのよ」と、自慢する卒業生が多いと聞きます。

児島ジーンズストリート、倉敷民藝館ときて、青陵関係では5位に「むらすゞめ」がランクされました。倉敷を代表する岡山三銘菓を創業145年の老舗が守り続けています。吉本豪之(15期)・耕三(19期)兄弟が経営しています。

名物「ぶっかけうどん」のふるいちは14位です。うどん日本一決定選手権の売上部門1位など全国でも評判の味です。古市(旧姓白神)博さん=2期=が長年切り盛りし、息子さんに譲りました。

19位になった林源十郎商店には、後身会社の社長を務めた斎藤隆さん(10期)ら青陵OBが活躍しました。

## 青陵関係 5位むらすゞめ / 14位ぶっかけうどん

# ひと

旧ソ連時代から日口交流に尽力する貿易商

13期 いわき つよし  
岩佐 毅 さん(78)



路上に並ぶ戦車の砲口に、老婆が赤いバラを挿していく。ソ連崩壊の引き金となる30年前の8月グデーターで見たモスクワの光景が忘れられない。直前に滞在した黒海沿岸ではゴルバチョフ大統領が軟禁され、「政変だ」「万歳」との怒号を聞いた。期せずして、激変するロシアの目撃者となった。34歳の時、大阪で机一つから対

ソ連貿易会社を立ち上げ、海運省傘下の黒海船舶公団に食い込む。船用品の受注で年商20億円まで伸びた会社は、ソ連崩壊の影響で倒産。めげずに中古車輸出を手がけ、一時は年間600台に達したが、今度はロシア政府の輸入規制で打撃を受けた。波瀾万丈の人生に、業界では「野武士」と呼ばれる。コロナ禍で往来が限られる今も、ロシア人含め社員5人、中古車部品の輸出で踏ん張っている。日本の対口感情とは裏腹に、ロシアへの愛は揺るがない。「革命、独ソ戦、ソ連崩壊を乗り越えた底力。親日で人なつこい。そこにほれました」。社内に「関西日露交流史研究センター」を設け、日口交流に尽くした人々の発掘と取材に奔走する。ソ連軍少佐の計らいでシベリア抑留から復員した旧日本軍の元少年兵が、恩返しを果たす秘話にも光を当てた。「落第社長のロシア貿易奮戦記」を4年前に出版した。今は耳で覚えた生のアネクドット(小話)集の刊行に向けて奮戦している。

□…令和3年7月16日付朝日新聞より(一部加工)。岩佐毅さんは旧姓藤岡。同窓会員名簿には住所を公表していません。

2022年(令和4年)2月16日 水曜日

読者の写真コンテスト2021年

## 溝手さん(岡山・早島) 最優秀



山陽新聞社は「読者の写真コンテスト2021年」の最優秀作品に岡山県早島町早島、会社員溝手昌樹さん(63)の「写真Ⅱの「山化粧」」を選んだ。総社市福谷の「大野のサクラ」を昨年3月27日早朝に撮影した。山は春の息吹を告げるヤマザクラで白一色。画面手前に収めたソメイヨシノと対照させて双方の美を引き出した。その前年に初めてここで撮影したがヤマザクラだけでは華がなく、今回はそのリベンジ。「ソメイヨシノを見つけて構図が決まった」と初の最優秀を喜ぶ。

「刻々と変化する光、自然の姿には飽きない魅力がある」と夜明け時の風景を



読者の写真コンテスト2021年の最優秀作品「山化粧」

### 「山化粧」桜2種 対照の美

溝手さんには山陽新聞社から記念品と賞金が贈られる。追ってきた。読者の写真コンテストへは奥さんや職場での批評を聞いて手応えがあった作品を投稿する。「自分が感じたものを写真で伝えるのは難しいが、受賞を励みにもっとよい作品に挑戦したい」

# 祝

山陽新聞社の「読者の写真コンテスト2021年」の年間最優秀賞に溝手昌樹さん(28期)の作品が選ばれました。溝手さんは、会社勤めが一段落した7、8年前から写真に力を入れています。今回の作品のビューポイントが倉敷の写真屋さんのアドバイスによるものと、喜んでいます。高校時代からカメラが好きでフィルム現像の経験もありますが、部活は地学部でした。〈記事は山陽新聞〉

# 「ビッグボス」

型破りなファンサービスのパフォーマーから今度は「ビッグボス」(BIGBOSS)と名乗って、令和3年冬、国民の注目を独り占めにし、さっそうとプロ野球界に復帰した日本ハムの新庄剛志監督を西日本短期大学附属高校(福岡県八女市)時

代に教えた恩師がいます。社会科教員の野口兼司さん(18期)です。社会現象ともなった「新庄劇場」の原点である高校時代の知られざるエピソードとその後の交流、野口さんの青陵時代の思い出も合わせて聞きました。(聞き手は編集委員)

## 新庄監督

### 高校時代の恩師・野口兼司さん(18期)に聞く



代剛=報  
時庄さん  
校新さ  
高の志  
の同紙

いるとまるでカモシカのように美しかったですね。新庄びっくり伝説も

「(編集委員・佐藤の同期野口さん、お久しぶりです。早速ですが、今はやりの新庄監督は教え子と聞いたんですが...)。そうなんです。直接には新庄君の3年時に政治経済を教えたんですが、野球部員として光ったから彼の思い出はいっぱいありますよ。――当時から目立ってたんですか。」

彼は一般入試で入学、普段は目立たないけれど、5キロを走るマラソン大会になると、すごかったですよ。1年時は学年でトップ、2・3年時は学校全体で1位でした。タイムも抜きん出ていました。サッカー大会でもボールを果敢に蹴って駆け回り、遠くから見るとまるでカモシカのように美しかったですね。新庄びっくり伝説も

## 真面目 教室とグラウンドの往復

あつてね、リングを片手で握りつぶしたらいいです。力士やプロレスラー並みの握力ですよ。足が速くて肩が強かったので1年生の秋から1番センターでした。夏の福岡大会決勝で惜しくも負けて甲子園出場を逃がしました。この試合でサイクルヒットを打ったのがスカウトの目に留まり、ドラフトの5位指名で阪神に入団したんです。阪神で活躍、大リーグ2球団を経て日本ハムに復帰してからは、皆さんご存じの通りです。

――新庄選手の型破りなファンサービスは有名ですが、高校時代からそういう片鱗はあったんですか。いやあ、真面目な生徒でね、練習熱心でしたよ。野球部のグラウンドの目の前に寮があるんですが、教室とグラウンド、寮を往復するだけのスト

「略歴」のぐち・けんじ 福岡県に生まれ中学時代に倉敷市へ。佐賀大学経済学部に入学、同学部自治会委員長などを務め、卒業後、飯塚商業を皮切りに西日本短期大学附属高校に22年間勤務、教頭に。計5校で教員生活45年。

イックな生活でした。でも他の部員は漫画ばかり読んでたけど、彼はファッション雑誌をよくチェックしてたど聞きましたね。おしゃれにはそのころから興味があったようですよ。ただ、授業中は板書も書き写してましたよ。ノートの端で早くもサインの練習をしてましたよ。のちに彼のサインを見たけど、その時の字に似てましたね(笑)。わが校の建学理念に「宇宙精神」があります。彼は当時の阪神・野村監督に「宇宙人」と言われましたが、嫌がってましたね。彼のキャラは宇宙精神を体現したのではないようです。ファンサービスに徹して、しかも監督にまでなるとは驚きでした。

――阪神に入団が決まった時はどうでしたか。

実は私、昔からトラキチで、新庄君の入団が決まった時は飛び上がって喜んだんですよ(笑)。今思えば走攻守三拍子そろっていたから、あり得た話ですがね。いきなり、彼に変なおねだりをして



野口先生とビッグボスのツーショット(平成19年、西日本短期大学附属高校の食堂)

しましました。「中村監督、岡田、真弓選手のサインをもらってうれないかと言ったんです。ミーハーでしょう!」だが、一向に約束を果たしてくれませんでした。それから17年後、日本ハムを最後に選手生活を終えた平成19年、久しぶりに母校を訪ねてくれ、彼がお世話になった学校食堂に案内しました。その時、例の約束を聞くと、「先生、無

「略歴」しんじょう・つよし 長崎県に生まれ福岡市で育つ。日米4球団で計17年間プレー。通算成績は1524安打、225本塁打、816打点、打率2割5分2厘。ベストナイン3回、ゴールデングラブ賞9回。身長181センチ。来季は愛称を「BIGBOSS」から「SHINJO」に改める。

### 阪神戦チケット贈られ応援に



をしんデ平手にはさ状=用選ル口賀ン=庄野年イ13新モたのザ成

「最後の、野口さんの青陵時代の話聞かせてください。」1年生で新聞部とハンドボール部を掛け持ちしました。ハンドボールではレギュラーになれそうになく11月にやめました。新聞部は3年間通し2、3年生で部長をやりました。浪人時代には新聞配達を経験、就活で全国紙を1社受けたほど新聞が好きでしたね。大学でも1年間、新聞部でした。――恩師でないと言えないビッグボスの素顔の興味深い話をありがとうございます。

「卒業後の交流はあるんですか。」卒業の時、野球部に最新式のバットイングマシンを1台寄贈してくれました。平成4年だったかな、阪神が優勝しそうになったシーズン、特別内野席の入場券も野球部を通じて贈ってくれたことがあります。喜んで甲子園に応援に行きましたよ。母校思いですね。彼が大リーグへ挑戦する年、私の年賀状のデザインは新庄選手の華麗なバットイングマフォームでした。うまいでしょ、実は妻の版画作品です。「夢に向って!!」というコメントを付けてました。監督契約は彼らしく、退路を断って1年だそうです。ビッグボスの大ファンとして、彼らしい監督実績を残してほしいですね。応援しています。

「最後に、野口さんの青陵時代の話聞かせてください。」1年生で新聞部とハンドボール部を掛け持ちしました。ハンドボールではレギュラーになれそうになく11月にやめました。新聞部は3年間通し2、3年生で部長をやりました。浪人時代には新聞配達を経験、就活で全国紙を1社受けたほど新聞が好きでしたね。大学でも1年間、新聞部でした。――恩師でないと言えないビッグボスの素顔の興味深い話をありがとうございます。

「最後に、野口さんの青陵時代の話聞かせてください。」1年生で新聞部とハンドボール部を掛け持ちしました。ハンドボールではレギュラーになれそうになく11月にやめました。新聞部は3年間通し2、3年生で部長をやりました。浪人時代には新聞配達を経験、就活で全国紙を1社受けたほど新聞が好きでしたね。大学でも1年間、新聞部でした。――恩師でないと言えないビッグボスの素顔の興味深い話をありがとうございます。